

# 公演概要

## <ラフカットとは>

「ラフカット」はエネルギーを持て余している役者に、力試しの場を提供していこうというプロジェクトです。

荒削りであっても可能性を秘めた役者との出会いを求めて、プロデュース公演やワークショップなどを行っています。

<例えば、こんな人が、ラフカットに参加しています！>

- 所属劇団の公演が年2回しかなく、欲求不満気味だ。
- 劇団ではいつも同じメンバーとばかりやっているの、新しい出会いを求めている。
- 養成所を卒業したけれど、これからどうやって芝居を続けていこうか迷っている。
- 養成所を卒業し劇団員になったものの、30を過ぎてもまだ若手と呼ばれ、こんなはずじゃなかったと思っている。
- 所属していた劇団が解散してしまい、途方に暮れている。
- バイトに明け暮れる毎日なのだが、そろそろ何かやりたい。
- 芝居はやりたいが、友達と仲良し劇団を作るつもりはない。

## <公演形態>

- 全キャストはオーディションで決定します。
- 4人の作家がそれぞれ30分程度の作品を書き、4本のオムニバス形式で上演します。
  - A 本田 誠人 脚本  
堤 泰之 演出
  - B 青木 豪 脚本  
堤 泰之 演出
  - C 浅沼晋太郎 脚本  
伊勢 直弘 演出
  - D 堤 泰之 脚本・演出

★ 今年のオーディションは8月2日に終了し、全出演者が決定いたします。

## <公演日程>

	10月27日(水)	10月28日(木)	10月29日(金)	10月30日(土)	10月31日(日)
14:00				●	●
19:00	●	●	●	●	

開場は開演の30分前

## 作家・演出家プロフィール

- 青木 豪・・・1997年、劇団グリーンを旗揚げ。以降2010年の活動休止まで18作品の作・演出を担当。劇団外の主な作品に、演劇集団円「東風」(作・演出)、文学座「エスペラント」(演出 坂口芳貞)、東京グローブ座「エデンの東」(演出 鈴木裕美)、シス・カンパニー公演「猿のゆりかご」(作・演出)、新感線プロデュース・いのうえ歌舞伎「IZO」(演出 いのうえひでのり)、彩の国ファミリーシアター音楽劇「ガラスの仮面」(演出 にな川幸雄)など。また演劇以外でも、NHK「中学生日記」「時々迷々」やHTBスペシャルドラマ「ミエルヒ」などのテレビ作品や、映画、ラジオドラマの脚本も手がける。
- 本田誠人・・・旗揚げから今年15周年を迎える劇団ペテカンの全作品の脚本、演出を手掛ける。1999年に自身の処女作「夏の踏台」(再演)でパルテノン多摩小劇場フェスティバル最優秀賞を獲得。笑いをベースにしながらも、そのテンポある会話のやり取りと人の温もりを感じさせる“あったかせつない物語”が現在注目を浴びている。NHK教育人形劇「タイムマシンの冒険」シリーズ、テアトル・エコー「蛍の頃」、劇団青年座「3 on 3」と、劇団以外にも脚本を提供し、活動の幅を広げている。
- 浅沼晋太郎・・・ハイブリッド・アミューズメント・ショウ bpmメンバー。主な脚本作品は、bpm「QUICK DRAW」(シアターアップル)、「アヴェ・マリターレ！」(スペース・ゼロ)。「音楽舞闘会 黒執事」(サンシャイン劇場)、\*pnish\*「マツリ」(青山円形劇場)「mrcr, ktkr.-メリクリ、キタコレ。-」(京橋花月)など。緻密な伏線とテンポの良いコメディ作品をはじめ、個々の想いを強く描くファンタジー作品にも定評がある。脚本家の他に演出家、俳優、声優(「ゼーガペイン」「四畳半神話大系」主演ほか)、コピーライター、デザイナーとしても活動。
- 伊勢直弘・・・ハイブリッド・アミューズメント・ショウ bpmリーダー。演出家としては2009年にロサンゼルスにて海外進出を果たす。主な演出作品は、アトリエッジ「ひこうき雲」(ロサンゼルス他、日本国内各地)「流れる雲よ」(新国立劇場他)「ぞめきの消えた夏」(スペース・ゼロ)など。個人の長所を伸び伸びと磨き上げる演出方針により、若手俳優の育成に特に定評を持つ。演出家の他にも俳優として「ミュージカル黒執事」(赤坂ACTシアター他)をはじめ、ダンサーとしてCMやクラブイベント等、声優としてアニメや海外ドラマ吹替、ゲーム、ナレーション、ラジオパーソナリティとしても全国FM局等で活動。
- 堤 泰之・・・1991年、プラチナ・ペーパーズを設立。代表作に「煙が目にしみる」「見果てぬ夢」(共に論創社刊)などがある。最近の主な作品は、「三丁目の夕日」(明治座)、ロックミュージカル「BLEACH」(新宿コマ劇場)、「ダブルブッキング」(紀伊國屋ホール&シアタートップス)、「小林幸子特別公演 かあちゃん」(明治座)、「太陽のあたる場所」(シアターサンモール)など。

<参考>

写真データの用意がございます。

写真を掲載いただける場合は、データ（JPEG）にてお送りさせていただきます。

大変お手数ですが、下記まで電話またはメールにてご連絡いただければ幸いです。

(株)スペース・ゼロ 施設営業チーム

担当 吉田

電話：03-3375-8741

Eメール:yoshida@spacezero.co.jp

## ラフカット 写真



「父を叩く」 作・演出 堤泰之（「ラフカット2009」より）